

2019（令和元）年度

大田区家庭・地域教育力向上支援事業の記録



大田区教育委員会

目 次

1. 大田区立嶺町小学校 PTO	2
2. 青少年対策羽田地区委員会	2
3. 馬込東中学校 P T A	3
4. 発達に遅れがある子どものための会♪おとのひろば	3
5. 特定非営利活動法人こどもラボ	4
6. 大田区立小学校 PTA 連絡協議会馬池ブロック	5
7. コーチングひだまり	5
8. 糀谷小学校 PTA	6
9. おおた・ふぼれんネットワーク	6
10. 大田区立志茂田中学校 PTA	7
11. 大田区立西六郷小学校 PTA	7
12. 大田区立高畑小学校 PTA	8
13. 子どもの部屋 学び実践の会	8
14. グランフレール・フレール	9
15. 大田区立道塚小学校 PTA	9
16. 大田区立大森東中学校 PTA	10
17. 東調布第三小学校 PTA	11
18. キャロットクラブ	11
19. 大田区立大森地区小学校 PTA 連絡協議会	12

1. 大田区立嶺町小学校 PTO

学校を応援しよう!!

<内容>

学校を応援するために保護者や家庭ができることは何か？先生方が子どもたちのために、もっとゆとりや笑顔のある教育をするために、学校と保護者や家庭が協力してよりよい環境を作るにはどうしたらいいのか。学校と保護者(家庭)と子どもたちが、お互い信頼関係を築くための方法や、意見・質問の伝え方などを具体的に学ぶ。

<参加者の感想>

- ・先生の仕事に対する見方が変わった。
- ・先生の余裕＝子どものキラキラ。まさにそのとおりだと思った。
- ・先生の良いところや子どもの成長を伝えていきたいと思った。
- ・同じ環境の方々と意見交換する場が大切だと思った。

	日時・会場	内容・講師・参加者数
1	6月20日(木) 10:00~12:00	「学校を応援しよう!!」 講師 澤田真由美(学校専門ワークライフバランスコンサルタント、先生の幸せ研究所 代表)
	嶺町小学校	参加者数 48名 (内訳) 会員 41名・会員以外 7名

2. 青少年対策羽田地区委員会

子どもたちへ伝えたいおもてなしの心

<内容>

おもてなしの心は、表裏ではなく本心で、見返りを求めない対応のことで、これまで家庭教育の中で親から子へ代々受け継いできた心である。講演を通してその心に再度着目し、親から子へ伝える意義を学び実践へつなげる。

<参加者の感想>

- ・涙あり笑いありのあつという間の学習会でした。子どもの見方を改めて考えさせられました。
- ・まず母親の自分が「おもてなしの心」を持たなければ子どもには伝わらないということを勉強させていただきました。
- ・子どもがこれから先、色々な方とコミュニケーションがとれるよう、まずは大人が正しい知識を学ぶことが大事だと思った。
- ・感動しました！この「おもてなしの心」が育っていけば「いじめ」がなくなると思います。

	日時・会場	内容・講師・参加者数
1	7月15日（月） 9:30～12:00	「子どもたちへ伝えたいおもてなしの心」 講師 江上 いずみ（筑波大学客員教授、札幌国際大学客員教授、グローバルマ ナースプリングス代表）
	羽田地域力推進セン ター	参加者数 144名（内訳）会員 31名・会員以外 113名

3. 馬込東中学校PTA

コミュニケーションが伝わらない仕組み～人間関係をスムーズに且つもっと楽しむために～

<内容>

家庭、学校、職場、社会などあらゆる場面で必要不可欠なコミュニケーション。今後他者とのよりよい関係を築いていくために必要な視点を学ぶ。今一度、親子関係や地域の方とのコミュニケーションを見直すきっかけとなることを目指す。

<参加者の感想>

- ・今後は他の子と比べるのではなく、その子の過去と比べて少しでも成長しているかを見るようにしたいと思います。
- ・伝わると思うから腹が立つ。この意味がよくわかり、子どもへの話し方を変えようと思いました。
- ・親子間のコミュニケーションで悩むことが多いが、自分のタイプ、子どものタイプを知り、「違う」ことがわかればイライラも起こらないのでは…と思った。

	日時・会場	内容・講師・参加者数
1	7月6日（土） 13:30～15:30	「コミュニケーションが伝わらない仕組み」 講師 藤崎 雄三（株式会社オール・アウト代表取締役）
	馬込東中学校 会議室	参加者数 42名（内訳）会員 40名・会員以外 2名

4. 発達に遅れがある子どものための会♪おとのひろば

青年期における障害児・者のための学習会

- ①発達につまずきがある子の強みをいかそう ②卒後の豊かな暮らしに向けて

<内容>

青年期の障害児・者を対象に、学齢期を終えた後の暮らしにスポットを当て、強みを生かし自分らしく豊かにくらしていくために大切にしたいことを学ぶ。同時に障害を抱える子ども、保護者、支援者、地域でのネットワークづくりにも生かしていきたい。

<参加者の感想>

- ・心に余裕がない(時間)時に知らない間に毒語を使っていたと反省、勉強会で学んだことを本日より活かしていきたいと思っております。
- ・ライフスキルの深さ大切さがよくわかりました。生活に合わせてこれから目標設定して取り組んでいこうと思います。
- ・「親の指導が正しいかどうかは、本人の態度をみればわかる」の言葉にドキッとしました。

	日時・会場	内容・講師・参加者数
1	9月16日(月) 10:00~12:30	「発達につまずきがある子の強みを生かそう」 講師 川上 康則(公認心理師、臨床発達心理士、特別新教育士 SV)
	消費者生活センター 大集会室	参加者数 93名 (内訳) 会員 4名・会員以外 89名
2	11月18日(月) 9:45~11:45	「卒後の豊かな暮らしに向けて」 講師 宇山 秀一(横浜市発達障害者支援センター 発達障害者地域支援マネージャー)
	入新井集会室	参加者数 55名 (内訳) 会員 4名・会員以外 51名

5. 特定非営利活動法人こどもラボ

- ①発達障害基礎講座Ⅰ 発達障害の「こんなときどうする？」を考える
- ②発達障害基礎講座Ⅱ 発達障害の「これからどうなるの？」を考える

<内容>

1回目は子どもの行動に戸惑ったり、子どもが訴えている本当の気持ちと関わり方等を学ぶ。
2回目は日常生活上問題と見られがちな行動と対応の仕方、どんな大人になって欲しいかのチューニング、子どもと関わる時の大人の心の持ち方を学ぶ。

	日時・会場	内容・講師・参加者数
1	9月20日(金) 10:00~12:00	「発達障害のこんなときどうする？」を考える 講師 木村 常雄(地域療育センターあおば副センター長)
	こどもラボ	参加者数 39名 (内訳) 会員 5名・会員以外 34名
2	2月18日(火) 10:00~12:00 コロナ感染症予防対策のため中止	「発達障害のこれからどうなるの？」を考える 進路、就職、成長するにつれ問題になることって？ 講師 木村 常雄(地域療育センターあおば副センター長)
	こどもラボ	参加者数 0名 (内訳) 会員 0名・会員以外 0名

6. 大田区立小学校 PTA 連絡協議会馬池ブロック

あなたの知らない いじめの実態 保護者は、今何ができるのか

<内容>

スマホの普及による SNS やネット利用の低年齢化に伴い、気が付かないうちに自分の子どもがいじめに関わっているケースがあります。便利であるスマホも使い方を間違えると、取り返しのつかないことになるケースもあります。子どもたちを見守るうえで実態を知り、その対応について一緒に考える。

<参加者の感想>

- ・傍観者が加害者に加担しない雰囲気を作るだけでもいじめの抑止力となる、子どもに伝えようと思います。
- ・親がどのような立場で、どのようにいじめを捉えていくかも重要だと分かった。
- ・いじめの実態を初めて知った気がする。今までいじめが起きたらああしよう、こうしようと考えてきたことの甘さ、難しさも知った。

	日時・会場	内容・講師・参加者数
1	7月13日(土) 15:00~17:00	「あなたの知らない いじめの実態～保護者は、今何ができるのか～」 講師 阿部 泰尚(NPO 法人 ユース・ガーディアン代表取締役)
	池上特別出張所	参加者数 40 名 (内訳) 会員 40 名 ・ 会員以外 0 名

7. コーチングひだまり

パパ、ママ、子どもも笑顔になれる 子育てに生かすコーチング講座

<内容>

子育てが楽しくなるよう、ひとりでも多くのパパ、ママがコーチングスキルを知り、子育てに生かすきっかけにしてほしいという思いから、講師により、子育てにおけるコーチングスキルについて話をうかがうとともに、参加者同士で話し合い、子育ての悩みなどを共有する。

<参加者の感想>

- ・自分で自分を承認してよいと聞き、安心できた。頑張ろうと思った。
- ・他の人たちの悩み相談から学ぶことが多かった。
- ・自分の生活に生かしていけると思った。

	日時・会場	内容・講師・参加者数
1	11月10日(日) 9:45~12:00	「パパ、ママ、子どもも笑顔になれる 子育てに生かすコーチング講座」 講師 福井 順子(CSRコーチング代表)
	消費生活センター	参加者数 18 名 (内訳) 会員 5 名 ・ 会員以外 13 名

	日時・会場	内容・講師・参加者数
2	2月2日(日) 9:45～12:00	「パパ、ママ、子どもも笑顔になれる 子育てに生かすコーチング講座」 講師 福井 順子(CSRコーチング代表)
	消費者生活センター	参加者数 24名 (内訳) 会員 6名 ・ 会員以外 18名

8. 糀谷小学校 PTA

こどもが挫折する親のタイプ

<内容>

講座を通してそれぞれ今まで子どもにふれてきたことを振り返り、改めて子どもと正しいふれあいができるきっかけになればと考えている。また保護者と地域の方々が一緒に家庭教育のあり方や、心構えについて学び共有する。

<参加者の感想>

- ・心が軽く温かくなった。親が変わることが何より大事。
- ・家庭調和の大切さ、子どもへの言葉のかけ方、接し方、自分への役割の大切さを学ぶことができた。
- ・躰について大変分かりやすかった。

	日時・会場	内容・講師・参加者数
1	11月16日(日) 10:00～12:00	「子どもが挫折する親のタイプ」 講師 田島 身衣子(NPO 法人 大田家庭教育研究所 所長)
	糀谷小学校体育館	参加者数 164名 (内訳) 会員 162名 ・ 会員以外 2名

9. おおた・ふぼれんネットワーク

発達障害って、どんなこと？～わが子の発達が気になる親たちの勉強会～

<内容>

「発達障害」という言葉がメディアでも取り上げられ、よく耳にするが詳細についてはわからないままの人も多い。保護者の中にも具体的なことがわからないばかりに不要な不安を抱えて我が子の行く末を案じている人も多い。この講座を通して保護者同士がつながる場にして不安を解消したい。

<参加者の感想> 発達のこと困っている内容リストから

- ・子どもの発達のこと、友人・担任・家族との関係、本人自身の問題などに困っているとの回答。

- ・親自身も周りの親との関係づくりで戸惑っている。
- ・親自身も我が子とのかかわり方で戸惑っている。

	日時・会場	内容・講師・参加者数
1	11月17日(日) 10:00～12:00	「発達障害って、どんなこと？～わが子の発達が気になる親の勉強会～」 講師 上原 芳江(臨床発達心理士・リソースセンターone 代表理事)
	ラズ大森4階(入新井 集会室)	参加者数 52名 (内訳) 会員 6名・会員以外 46名

10. 大田区立志茂田中学校 PTA

中学生、子どもとのコミュニケーション

<内容>

思春期の子どもとのコミュニケーションにおいて不安や戸惑いを感じることも多い。今どきの子どもに対する接し方や子どもへの声掛けの方法を学び、家庭の中で実践し、親子関係を深め、家庭教育をよくすることを目指す。

<参加者の感想>

- ・自分の子どもに置き換えて考えることができた。
- ・思春期のことは、口出しはあまりせず、見守るにかざらと思った。
- ・カウンセリングをしてもらいたくなりました。

	日時・会場	内容・講師・参加者数
1	10月26日(土) 15:30～17:30	「中学生、子どもとのコミュニケーション」 講師 木村 能成(臨床心理士・志茂田中学校スクールカウンセラー)
	志茂田中学校 地域集会室	参加者数 35名 (内訳) 会員 32名・会員以外 3名

11. 大田区立西六郷小学校 PTA

「自分らしさとは何か？」～自分探しの旅～

<内容>

「居心地のよい自分」を見つけるきっかけとする。

誰もが自身の考え方・感じ方を持つ中で、ポジティブな視点から物事をとらえ、しなやかに生きていく方法を考えると共に、親子間や保護者間などにおける互いに個性を認めた人間関係の形成について考える機会とする。

	日時・会場	内容・講師・参加者数
1	11月2日（土） 10:00～14:00	「自分らしさとは何か？」～自分探しの旅～ 講師 赤羽 尚美（小田原短期大学 保育学科専任講師）
	西六郷小学校 えほんの部屋	参加者数 24名（内訳）会員 23名・会員以外 1名

12. 大田区立高畑小学校 PTA

竜楽師匠に学ぶ 落語が伝える親子関係

<内容>

落語の演目にはたくさんの親子噺があります。江戸時代から続く日本の伝統文化でもある落語から、昔ながらの親子関係の噺を聞いて現代との違いや共通点を学ぶ。

	日時・会場	内容・講師・参加者数
1	12月21日（土） 10:00～12:00	「竜楽師匠に学ぶ 落語が伝える親子関係」 講師 三遊亭 竜楽（落語家）
	高畑小学校 集会室	参加者数 44名（内訳）会員 35名・会員以外 9名

13. 子どもの部屋 学び実践の会

健やかな育ちのために

<内容>

子どもの病気の原因を考えずに対処療法として医者にかかり投薬を行うことの危険性を理解し、自然治癒力、免疫力を高めるためにはどうしたらいいかを学び、子育て・子育ちについて考えあうきっかけとしたい。

<参加者の感想>

- ・家でできるケアや病院に行ったときに注意した方が良かったこと等、日常生活で生かせる内容が多かった。
- ・薬についての知識を知ることができてよかった。薬の乱用が一番よくないことが改めてわかった。
- ・ウィルスは原因ではなく、結果ということ、その例えもわかりやすかったです。

	日時・会場	内容・講師・参加者数
1	11月16日（土） 10:30～12:30	「健やかな育ちのために」 講師 高野 弘之（小児科医師）
	子供の部屋 保育園ホール	参加者数 31名（内訳） 会員 5名・会員以外 26名

14. グランフレール・フレール

スポーツトレーナーから学ぶ子どもの健康サポート
～野球少年のヒジ・肩・腰の故障予防と試合・練習後のアフターケア～

<内容>

成長期にある子どもたちは、心と身体の発達が際立つ時期ですが、近年、高校生以下の野球少年がヒジ・肩・腰を傷める事例が多く報告されています。保護者・指導者が正しい知識のもと、楽しみながらスポーツに親しめるための準備や練習後のケアなどの支援方法について学ぶ。

<参加者の感想>

- ・ケガ予防に対する意識の確認ができました。
- ・正しい姿勢、正しいストレッチがわかった。家で出来る簡単な確認方法がわかってよかった。
- ・成長期の子どもたちの骨の成長についてよくわかり、ケアしてあげる必要性を感じた。

	日時・会場	内容・講師・参加者数
1	9月28日（土） 19:00～21:00	スポーツトレーナーから学ぶ子どもの健康サポート 「野球少年のヒジ・肩・腰の故障予防と試合・練習後のアフターケア～」 「発達障害をもつ子への指導と支援で心がけたいこと」 講師 石井 斉（東京明日佳病院 理学療法士）
	萩中集会所 地下集会室	参加者数 118名（内訳） 会員 86名・会員以外 32名

15. 大田区立道塚小学校 PTA

親の見守り方で子どもは変わる

<内容>

子どもたちが自己肯定感を育み、意欲をもって生きていくために、親の子どもへの接し方や声かけなど家庭でのサポートを重要です。親の見守り方、応援力について学ぶ。

<参加者の感想>

- ・子どものために思ってやっていたことが、自分のためにやっていたかもしれないことに気づかされました。
- ・礼儀だけを教えるのではなく、心構え(心が前)を教えることが大切といていたのが、正にその通りだと思った。
- ・結果ではなく、経過を誉める。これから心がけたいと思います。

	日時・会場	内容・講師・参加者数
1	11月6日土(水) 15:00~16:30	「親の見守り方で子どもは変わる」 講師 年中 夢球 (本間 一平) (メンタリスト・塾講師)
	道塚小学校 体育館	参加者数 161名 (内訳) 会員 130名・会員以外 31名

16. 大田区立大森東中学校 PTA

「共に生きる」を考えよう！

<内容>

発達障害について理解が進んだと感じられる中、実際はそうした子や人とどのように対応するのかわからない人も多い。「共生社会」を実現させるために社会や学校が取り組めることを皆で考える機会とするために前半は講義、後半はディスカッション形式で進める。

<参加者の感想>

- ・「障害を理解する」この言葉にすっきりした自分がいます。難しく考えることなく理解することから一歩踏み出せたらいいなと思いました。
- ・親の気持ちや関わりのある生徒の気持ちを聞くことができ、障害児の親として迷惑なのでは？という気持ちが杞憂であることがわかってよかった。
- ・自立していくためのサポートの大切さを改めて理解できました。

	日時・会場	内容・講師・参加者数
1	11月1日(金) 18:00~19:40	「共に生きる」を考えよう！ 講師 石橋 恵三(学校法人 武蔵野東小学校 統括校長)
	大森東中学校	参加者数 29名 (内訳) 会員 5名・会員以外 24名

17. 東調布第三小学校 PTA

知っていますか？人生設計で関わりのある税制 ～子育て教育と税～

<内容>

なかなか身近な問題でもなじみがないために難しいと敬遠しがちな税金のお話をお伝えする。とりわけライフイベントに合わせた税金について、結婚、出産、子育て(教育)、パート、自宅購入、退職、老後、相続などの折々で知っていなければならない税金の制度を学ぶ。

<参加者の感想>

- ・税に対する認識が高まった。
- ・とてもためになりました。子どもに話したいと思います。
- ・税金の使われ方、集め方、理念を子ども達にはこう伝えている、というふうに話して下さったのが自分達大人にもわかりやすかったし、子ども達には税金＝ポジティブに思えるんだらうな、と思いました。

	日時・会場	内容・講師・参加者数
1	11月17日(日) 13:30～15:00	「知っていますか？人生設計で関わりのある税制 ～子育て教育と税～」 講師 酒井 克彦(中央大学商学部教授)・水谷 翠(公認会計士・税理士)
	東調布第三小学校 特活室	参加者数 27名 (内訳) 会員 19名 ・ 会員以外 8名

18. キャロットクラブ

ダウン症のある人の企業就労について考える

<内容>

企業就労において、知的障がい者が対象外になることが多くみられるので、障がい児を取り巻く地域の人々や障害児の家族に障がい児の企業就労に実状を知ってもらい、より開かれた障がい者の就労環境を共につくっていく。

	日時・会場	内容・講師・参加者数
1	2月2日(日) 13:00～17:00	「ダウン症のある人の企業就労について考える」 講師 松原 未知(社会福祉士・精神保健福祉士・キャリアコンサルタント)
	大田区男女平等推進センターエセナおおた 第2・3学習室	参加者数 32名 (内訳) 会員 20名 ・ 会員以外 12名

19. 大田区立大森地区小学校 PTA 連絡協議会

こどもたちの自己肯定感を育む

<内容>

子ども達がよりよく生きるためには、子どもだけでなく、大人にも自己肯定感が必要です。本学習会では、親子で生きる力を育むたの考え方を学ぶ。

	日時・会場	内容・講師・参加者数
1	2月1日(土) 14:30~16:00	講演 「親子で育む生きる力」 講師 大神 千穂(株式会社アカデミープラス 3.2 代表取締役)
	入新井集会室 Luz 大森4F	参加者数 106 名 (内訳) 会員 20 名 ・ 会員以外 86 名